

2020 ROTAX MAX SERIES Rd. 3 / Rd.4

ROTAX RACING #MOJO XPS YOKOHAMA BRIDGESTONE Triple K



ブリーフィング通知

2020 フェスティカサーキット瑞浪 ROTAX MAX シリーズ 第3戦 / 第4戦
大会事務局
2020/7/17

必ずお読みください

大会開催にあたり、参加者の皆様へお願い

- ・手洗いやうがいは、こまめに行ってください。
 - ・出来る限りマスクの着用を推奨いたしますが、熱中症対策を十分に行ってください。
 - ・体調が思わしくない方は、レースへのご参加及びご来場をお控えください。
- ※ご来場後に体調に異変を感じた場合は、すみやかにレース事務局までお申し出下さい。

- 1、ピット、パドック内は火気厳禁です。火器類の取り扱い注意を無視したドライバーやピットクルー（登録メカニック）は、当該レース失格となり参加を取り消される場合がありますのでご注意ください。
注）ピットエリアは、登録したメカニック、ピットクルーのみ立ち入りが許可されます。
- 2、エンジンの始動チェックはダミーグリッドでのみ行えます。また、エンジンの暖気場所を設定しますので、その箇所でのみ、進行長の指示に従ってエンジンから吹かしを行えます。※ミッションは特別措置あり
※パドックやテント内では暖気、エンジンのから吹かし禁止となります。
- 3、工具を使ったメカニカル作業はピットエリアでのみ行えます。指定外のエリアで作業するとペナルティとなります。赤旗中断後の作業は、競技委員からの指示が出たあと、ピットエリアで作業できます。
また、ドライバーに出すピットサインは、ピットサインエリアでのみ出すことができます。※エリア外は罰則
- 4、Junior MAX、MAX Masters、Senior MAX、Senior Lights・ジェントルマン、KZ クラスは、公式練習中の使用タイヤ自由となります。また、公式練習中のタイヤ交換は認められます。
注1) Micro MAX、MINI MAX クラスに関しては、公式練習から競技指定タイヤの使用となります。
登録タイヤ内（ドライ、ウエット）での交換は認められます。
注2) 公式練習とタイムトライアルを連動して行う場合、公式練習が終了した時点で、メインポストから計測中のボードが提示され、タイムトライアルに移行します。
またピットエリアでヒートを終了した場合、必ず車検場経由でパドックインしてください。
- 5、コース上では必ずドライバーサインを出し、周りのカートにアピールするようマナーの徹底をお願いします。
※エントラント・ショップの方もドライバーへの指導にご協力ください。
- 6、ピットエリア走行は徐行厳守で、ピットエリアスルーは禁止です。スルー走行の場合ペナルティとなります。
- 7、指定のフロントフェアリングの取り付けは、ダミーグリッドでもパドックでも可能とします。
競技終了後、車検前に全車装着状態の確認があります。※抜き打ちで取り外しを命ぜられる車両があります
- 8、コースアウトまたは接触等によって、走行中だったコースとは違った箇所に飛び出してしまった場合、安全確認後、元いた場所に一番近いと思われるコース箇所から再スタートしてください。
- 9、公式練習、TT、予選、（プレファイナル含む）は、ダミーグリッドからのスタートです。
ファイナルヒートのみコース上からスタートとなり、コース上もダミーグリッド扱いになります！

- 10、タイムトライアル開始後はピットエリアに入ることはできません。
- 11、タイムトライアル時、コースインした後、位置取りのための複数の車線変更やレコードラインでの低速走行、アタック中の車両妨害にあたる行為はペナルティの対象となります。また、後方のカートにラインを譲る場合は、レコードラインを開け、手で追い抜く側をしっかりと示すドライバーサインを必ず出すようにしてください。
- 12、予選ヒート、プレファイナル、ファイナルのコースイン後は、1周のウォームアップ走行を導入します。ウォームアップ走行終了後、2列の隊列を迅速に整え、グリッド順にて走行してください。ローリングペースが速い場合はD O W Nボード提示、良い場合はK E E Pボードを提示します。先頭グループは、アドバンテージがあるものの、隊列のスピードを調整する義務があります。隊列を大きく乱したり、隣のカートと接触するような悪質な行為の場合は、積極的に白黒旗が提示されたり、ポジション降格（1～10ポジションダウン）やタイム加算等のペナルティが入ります。
- 13、ローリング中のポジション復帰禁止区間は、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンを結んだ赤い線上を通過した箇所から、ホームストレートのイエローラインまでです。隊列を引っ張る先頭グループは、7コーナー進入手前から隊列を整えるべく、ペースを落としながらローリングスピードを調整してください。「通称；たこつぼコーナー」立ち上がってくる時点で、2列の隊列を形成するようにしてください。ローリングスピードの調整はオフィシャルから指示が出ます。また、隊列から大きく遅れた車両には、白地に赤バツテンのボードが提示される場合があります。提示されたカートは隊列に近づいたとしても、最後尾についてのスタートとなります。※ミススタートになった場合でも、ポジションの復帰は出来ません
- 14、ローリングスタート後、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンに隊列の先頭集団が差しかかった時点で、ピットからのスタートはできません。
- 15、ローリング途中で自分のグリッドに戻れない車両がいた場合でも、競技委員の判断でそのままスタートを切る場合があります。また、グリッドが著しく乱れていた場合は、さらにもう1周の合図が出て、再度ローリングが継続されます。その場合、正しいグリッドから外れていた車両は正規の位置に戻る権利が再度発生します。但し、ポジション復帰禁止区間では戻れません。※ドライバーサインは必ず出してください！
- 16、全クラス、ローリングの隊列が25Mラインを越えてスタート合図（シグナルのブラックアウト）が出たあとであれば、隊列は2列の誘導白線をまたいだり、追い抜きをかけてもペナルティにはなりません、スタート合図前に車線変更や追い抜きをした場合、ポジション降格等のペナルティが入ります。
- 17、隊列に出すスタート合図は、コース右側信号の赤点灯から消灯（ブラックアウト）になった瞬間といたします。赤信号が消えない場合は再ローリングとなり、センターポストからもう1周の合図を提示いたします。※スタートが切られた場合は、メインポストからピットエリアに知らせるため日章旗を振ります。
- 18、スタート合図の際、ドライバー本人のミスで遅れてもミススタートとはせず、レースが続行されます。悪質なポジション取りや隊列を乱す行為には、白黒旗が出て警告をします。繰り返すとペナルティとなり、グリッド降格や最後尾スタートとなります。
- 19、雨天時、雨の量が多く2列でのスタートが危険と判断された場合、グリッド表の隊列ではなく1位を先頭に1列のフォーメーションでローリングを行います。この場合先頭車両は、11番ポストを過ぎた箇所から加速することを認めます。加速を開始した後で、レーシングスピードを著しく落とすことは危険であり禁止されます。この行為はペナルティとなります。隊列を乱し赤旗起因を作った場合、再スタート時は最後尾となります。スタート前の隊列はホームストレート中央付近を走行し、コントロールラインを越えスタートします。通常の誘導白線は2列でないため使用しません。コントロールライン先から追い越し許可となります。注意として1列スタートの場合、25Mラインまでの加速禁止は対象外になります。安全を考慮し進行しますので、周回数減やイエローコーションでレース終了となる場合もあります。注）雷、濃霧、その他の悪天候の場合、レースを中断し、タイムスケジュールを変更する場合があります。

- 20、競技中、吸排気系の部品にトラブルが発生した場合、基本的にはレースを終了しなくてはなりません。但し、後方に危険がおよびそうな場合に限っては、オレンジボール旗によって、ピットインを指示する場合があります。この場合、ピット作業エリアで修復すればレースに復帰が可能です。
- 21、競技中にコースオフィシャルが緊急の事態やトラブル車両の確認などでポストから若干移動する場合があります。その場合、黄旗の他に黄色のLED信号灯が点滅します。黄色の信号点滅も黄旗と同じ扱いになり、その信号灯から対象車両を過ぎたグリーンフラッグまでがイエロー区間となりますので、イエローフラッグ同様の対処をしてください。
また Micro MAX クラスや MINI クラスは、走行中の多重クラッシュやアクシデント発生時、ドライバーの意思に関係なく救済に入ることがあります。その場合、状況によってはレースに戻ることができます。オフィシャルが救済した為に即リタイヤ、という判断にはならない場合があります。
- 22、競技中のコース内障害物やドライバー、競技委員に緊急な健康被害あった場合、赤旗中断の判断まではいかないとジャッジしたとき、競技中の車両全車に対しイエローコーション（ニュートラリゼーション）の指示が出されます。詳細に関しては、イエローコーションの通知を確認してください。
※路面状況によって、赤旗後の競技再スタート方式が、ニュートラリゼーション方式となる場合があります。
- 23、赤旗時、緊急を要する負傷者がいる場合、その措置が優先となります。※場合によっては競技が中止されます。
- 24、各ヒート終了後、各車両はピットイン後車検場にて検査を受けてください。
レース途中でリタイヤしていた参加者は車検を受けることが望ましいですが、車検を受けなかった場合、当該ヒート未車検扱いとなり失格となります。また、部品やその他の装備違反等が、前の車検でクリアしていても、最終ヒート走行後に不備が発覚した場合は当該ヒート失格（NG）となります。
- 25、MAX Masters クラスに関しては、通常競技ライセンス所有者とカートライセンス条件付ドライバーが混走する場合があります。
- 26、ヒート中の違反に関するペナルティは下記と通りとします。 ※一例です
(1) 悪質なプッシング、幅寄せ、その他の危険走行の場合 ⇒ 白黒旗 当該ヒート累積 2 回で黒旗提示
(2) ペナルティカタログの対象行為などをした場合 ⇒ 審査委員と競技役員で決定
(3) フラッグ無視、車両違反、装備不具合などをした場合 ⇒ ペナルティやヒート失格（NG）
(4) スポーツマンシップに反した行為や軽度な規則違反をした場合 ⇒ 警告や失格（NG）
- 27、上位入賞カート、車検委員長が指定したカートは車両保管を受け、エンジンなどのオープン検査を行います。
- 28、エンジン交換規定、ウエイトハンディ規定、その他は、2020 ROTAX MAX 規則書を必ずご確認ください。
- 29、リタイヤの場合、所定の「リタイヤ届」にエントラント・ドライバーの署名をし、大会事務局に提出ください。
- 30、参加者はレース終了後の表彰式に参加し、終了後はピットパドックの片付け、清掃をお願いいたします！